

お宝発見 下北ジオパーク

vol. 26 (2020年12月号) 毎月20日発行

お宝No.26 「安部城鉱山跡」(むつ市)



2020年11月15日撮影

鉱山の歴史と環境について学べる場

安部城鉱山は、大正時代には日本三大銅山のひとつとも言われ、ピーク時の川内町は県内で4番目の人口で栄えた一方、黒鉱の精錬とともに深刻な鉱害が発生しました。閉山後、鉱山関係者や漁業関係者らの努力によって緑の山に回復しました。

「安部城鉱山跡」(あべしろこうざんあと)の情報

- 所在地 青森県むつ市川内町
- 交通 下北駅から車で約40分
- 駐車場 あり □トイレ なし
- 注意 野生動物が出ることがありますので、クマ鈴など音のなるものを携帯してください。
サイト内で危険箇所や異状を見ついたら
協議会事務局までご連絡ください

お知らせ



ジオ検定申込受付中！

下北ジオパークを深く知り、楽しむ検定「ジオ検定」の申込受付中です。問題は「下北ジオパークガイドブック」をもとに出題します。下北ジオパークを学び、検定に挑戦してみませんか？

＜開催日時＞2021年2月13日（土）14時～16時30分

＜場所＞むつ来さまい館 ＜検定料＞無料 ＜定員＞50名

※詳細はジオ検定チラシもしくはHPをご確認ください。



詳しくはこちら



「再認定審査 現地調査」

10/27～29に再認定審査現地調査が行われました。再認定審査では、日本ジオパーク委員会が、地質遺産の保全、活用の仕組みと取り組み、前回審査時に指摘された事項に對して課題が改善されたかどうかなどを確認します。

調査では仏ヶ浦や尻屋崎、むつ来さまい館などを見学し、調査員からは「認定から4年で、前回の指摘事項はおおむね改善され、進歩している」「地域の人が積極的に活動している」「教育の取り組みが非常に進んでいる」など、評価をいただきました。結果発表は来年2月の予定です。



「薬研に東屋誕生！」

11/2、薬研で東屋のお披露目式・除幕式が行われました。東屋を製作したのは、「ものづくりでまちづくり実行委員会」。青森県立むつ高等技術専門校が中心となって活動しており、下北ジオパーク夢実現プログラム補助金を活用し、下北ジオパーク応援Projectを行っています。2018年の脇野沢の牛ノ首農村公園、2019年の斗南丘牧場に続き、今年は薬研。地域住民や地元中学生のアイデアや力を集める形で制作内容の検討を重ねていき、薬研にぎわいをもたらすと素敵な東屋とベンチが完成しました。

「美味しく学ぶ、キッチン火山体験」

11/16、むつ市立大平小学校では、身近な道具や食材を使って火山活動を再現する「キッチン火山体験」が行われました。講師はプラタモリの案内人も務めたこともある秋田大学の林信太郎教授。行われた実験は、コンデンスマilkとココアを使ったカルデラ形成実験など3種類。授業の最後の質問タイムでは教室にいるほぼ全員が手を挙げ、火山や地震に関する質問をしていました。

授業終了後には、下北各地から集まった先生方へ指導の助言も行われました。お麸を使った火山噴火の実験が行われると、実験の道具や手順を熱心に記録していました。



編集後記



少しずつ山から緑が消え、気温が下がり、日に日に冬に近づいていることを感じます。グリーンシーズンが終わるのは少し寂しい気もしますが、夏の草木が生い茂る時は見えづらい地層や岩石などがよく見える時期でもあります。今回紹介した安部城鉱山跡も、夏は見えづらい煙突がよく見えました。ジオパークを楽しむ観光にはぴったりの季節といえるかもしれません。皆さんも今だからこそ見える物・景色を探してみてくださいね。

【発行元・お問い合わせ】

下北ジオパーク推進協議会 事務局

☎0175-22-1111 (むつ市ジオパーク推進課内)



公式 HP



facebook

下北ジオパーク

検索